



令和 3 年 度

博士課程前期 2 年の課程学生募集要項

(令和 3 年10月入学)

〔9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜〕

〔早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜〕

令和 3 年 5 月

東北大学大学院工学研究科

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、募集要項の内容を変更する場合がありますので、本研究科下記URLの大学院入試情報Webページに注意してください。

<https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/>

【工学研究科の入学選抜方針（博士課程前期2年の課程）】

◇アドミッション・ポリシー

工学研究科の教育目的および教育目標に共感し、カリキュラム・ポリシーに掲げられた知識と能力を習得するために必要な、次の学力および能力をもつ人を求めています。

1. 工学を学ぶための基礎学力
2. 問題解決のための論理的思考能力
3. 教育・研究環境に適応し、国際的に活躍するための語学力

◇教育目的および教育目標

工学研究科は、東北大学の伝統である「研究第一主義」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念の下、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。

具体的には、前期課程にあつては、研究遂行に必要な幅広い基礎学力と語学力を習得し、研究課題を独自の発想によって展開させ、論文等として発表する能力を備えるとともに、専門分野における研究能力、あるいは研究・技術指導のための基本的能力と高度な技術を有する人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では、所定の期間在学し、工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、所定の単位以上を修得し、高い倫理観と責任感、そして以下の知識と能力を身につけた上で、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した学生に対して、修士（工学）の学位を授与する。

1. 研究課題の本質を理解し探究できる幅広い基礎知識と基礎学力
2. 専門分野に関する深い知識
3. 専門分野に関連した学際的知識
4. 異なる専門分野の知識の統合によるシステム設計能力
5. 研究の課題設定と課題解決能力
6. 研究の高度な実践能力と応用展開能力
7. 研究の遂行に必要な語学力
8. 研究指導または技術指導のための基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう、以下の方針に沿って教育を行う。

1. 研究課題の本質を理解し、研究を遂行、展開するために必要な幅広い基礎知識、高度な専門知識及び専門分野に関連した学際的知識を修得させる。
2. 研究課題に対する高度な実践能力、その研究課題を独自の発想によって展開できる能力を育成する。
3. 研究の遂行及び研究成果を発表するのに必要な語学力を育成する。

上記の方針を実践するため、工学研究科全体で共通科目を開講するとともに、専攻ごとに専門基盤科目、専門科目、関連科目を設定し、カリキュラムマップにより教育課程の全体像を把握できるようにしている。専門基盤科目は主に講義形式で提供し、専門科目は講義形式の他、セミナー、修士研修等で構成されている。講義形式の科目は、各専攻における幅広い基礎知識および高度な専門知識を修得させる目的で提供し、科目ごとに教授内容、達成方法、時間外学修の指針等を明示したシラバスを作成している。セミナー科目は最新技術あるいは自身の研究成果に関する発表および討論を通して当該分野の研究課題を俯瞰する力や研究の実践力を養成する。修士研修は個別の課題に関する研究と修士学位論文の執筆を通して高度な研究を実践する能力と展開力および語学力を養う。

講義科目では、定期試験やレポート等の手段により基礎知識、基礎学力、専門知識等を講義担当教員が評価する。成績評価方法の詳細については科目ごとにシラバスに記載している。セミナー科目では発表や討論を通して学術論文や技術資料を理解する能力を当該専攻の教員が評価する。修士研修では研究室における研究活動、国内外の学会における発表、修士学位論文および審査会における議論の内容を基に、独自の発想により研究課題を展開させ遂行する能力、学会における研究発表や討論の能力、外国語によるプレゼンテーション能力、演習・実験の補助能力、学術報告書の作成能力等を指導教員が評価する。

1 募集する専攻及び募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
機械機能創成専攻	若干名	応用化学専攻	若干名
ファインメカニクス専攻	〃	化学工学専攻	〃
ロボティクス専攻	〃	バイオ工学専攻	〃
航空宇宙工学専攻	〃	金属フロンティア工学専攻	〃
量子エネルギー工学専攻	〃	知能デバイス材料学専攻	〃
電気エネルギーシステム専攻	〃	材料システム工学専攻	〃
通信工学専攻	〃	土木工学専攻	〃
電子工学専攻	〃	都市・建築学専攻	〃
応用物理学専攻	〃	技術社会システム専攻	〃

2 出願資格及び選抜要件

- ◎ 9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜に出願できる者は、下記の（１）～（１０）のいずれかに該当する者としてします。
- ◎ 早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜に出願できる者は、３年以上４年未満の在学をもって卒業を認められ、令和３年９月に大学を卒業見込みの者としてします。
- （１） 大学を卒業した者及び令和３年９月までに卒業見込みの者
 - （２） 大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与された者及び令和３年９月までに学士の学位を授与される見込みの者
 - （３） 外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者及び令和３年９月までに修了見込みの者
 - （４） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び令和３年９月までに修了する見込みの者
 - （５） 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和３年９月までに修了する見込みの者
 - （６） 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課

程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和３年９月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和３年９月までに修了する見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号参照）
- (9) 学校教育法第１０２条第２項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達した者

〔注１〕 出願予定の者のうち、本学に雇用されている者については、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

〔注２〕 出願資格（６）によって出願しようとする者は、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

〔注３〕 出願資格（９）～（１０）によって出願しようとする者は、出願資格審査を行いますので、事前に志望する系・専攻の事務室（別表備考欄参照）へ問い合わせてください。

〔注４〕 本研究科は、「大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」に関する出願資格は適用しません。

3 願 書 受 付

受付期間は、令和３年６月１４日（月）から６月２４日（木）までとします。

【郵送の場合は、受付期間最終日必着です】

【６月２５日（金）以降は窓口、郵送到着分ともに出願書類を受け付けませんのでご注意願います】

なお、土曜日・日曜日は受付を行いません。

また、受付時間は、９時から１６時までとします。

（ただし、１１時４５分から１３時までを除きます。）

受付場所（郵送先）：東北大学工学部・工学研究科教務課大学院教務係

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉６－６－０４

4 出 願 手 続

出願者は、次の書類等を調べて受付期間内に提出してください。

また、提出する証明書は原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合は、各証明書の発行元が証明した和訳又は英訳を添付してください。

上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※ 一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※ 受付後の出願取下げは認めません。

※ 証明書は原本を提出してください。

(原本のコピー、電子ファイル、電子ファイルからの印刷物等は原本とはみなしません。)

※ 願書等の書類や封筒に記入する際には、黒ペンではっきりと判読できるように記入してください。

(鉛筆書き及び摩擦で文字が消えるペンによる記載は不可)

※ 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

提出書類等	摘 要
入 学 願 書	本研究科所定の用紙
成 績 証 明 書	出身大学の学部長、短期大学長又は高等専門学校等の学校長が発行するもの。(ただし、本学工学部在籍者は提出不要です。また、高等専門学校専攻科に在籍している者は、学科在籍期間の成績証明書も提出してください。)
T O E F L ® T e s t 又 T O E I C ® Listening & Reading Test (以下 TOEIC®公開 テストと記載) スコアシートの 原本 有効となる試験: TOEFL® Test PBT, TOEFL iBT® Test , TOEIC®公開テスト	応用化学専攻, 化学工学専攻, バイオ工学専攻を志願する者は提出不要です。 <u>提出されたスコアシートは返却しません。</u> <u>ただし, TOEFL®Test [受験者用控えスコアレポート] に限り, 出願時に申し出があれば試験当日返却します。</u> <u>TOEFL®Test (公式スコアレポート) を本研究科宛て直接送付する際のコードは「8958」です。</u> <u>本研究科では, TOEFL iBT®テストにおいて Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します (MyBest™スコアは利用しません)</u> ◆TOEFL®Test 及び第267回までのTOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合 ・スコアシートを含めたすべての出願書類を, 「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。 ◆第268回から第271回までのいずれかの TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合 ・スコアシートを除いたその他の出願書類を, 「3 願書受付」に記載の受付期間内に提出してください。

	・スコアシートは、<u>8月3日（火）【必着】</u>までに「3願書受付」に記載の受付場所に提出してください（土曜日・日曜日及び祝祭日は受付を行いません）。郵送により提出する場合は、任意の封筒に朱書きで「スコアシート在中」とし、送付してください。提出の際は、スコアシートの裏面に出席した系・専攻を記入してください。 注 一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 例) 第267回 TOEIC® 公開テストのスコアシートを提出後、第268回または第270回 TOEIC®公開テストなど別のスコアシートを再提出することはできません。 注 願書受付期間外に提出できるスコアシートは、第268回から第271回までのいずれかの TOEIC®公開テストのスコアシートに限りです。 例) 第267回までの TOEIC®公開テストのスコアシートや TOEFL®Test のスコアシートを「3願書受付」に記載の受付期間外に提出することはできません。 ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
卒業（見込）証明書又は 修了（見込）証明書	出身大学の学部長、短期大学長又は高等専門学校長が発行するもの。
学位授与（見込）証明書 又は学位授与申請（予定） 証明書	大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書（ただし、出願資格（2）による出願者のみ。）
受験票・写真票	上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真を写真票に貼ってください。
住民票の写し	<u>本邦に在留する外国人の方(在留期間が90日を超える者)のみ</u>提出してください。 (出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号（マイナンバー）の記載がなく、在留資格が明記されたもの)
検定料	①検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入してください。 ※<u>振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名</u>を登録すること。 ※<u>振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの</u> (例：ATMの利用明細（写）、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー)を<u>検定料納付確認書に貼り付ける</u>こと。 ※振込手数料については、出願者本人負担となります。 金 額：30,000円 納入期限：6月23日(水)【期限厳守】 銀 行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支 店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259225 口座名義：国立大学法人東北大学 カ ナ：ダイトホクダガク ②国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html

出 願 用 封 筒	本研究科所定の封筒の差出人欄を記入し、提出してください。
受 験 票 送 付 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 94 円分を貼ってください。
合 否 通 知 用 封 筒	本研究科所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 540 円分を貼ってください。

[注] 前記書類のほか、それぞれ次の書類を提出してください。

◎在職のまま入学する者

提出書類等	摘 要
受 験 承 諾 書	所属長の発行したもの。(社印等のあるもの・様式任意)

◎外国人留学生及び外国の大学で学校教育を受けた者

提出書類等	摘 要
確 認 書	本研究科所定の用紙で受入れ予定教員又は専攻長が作成したもの。 (研究計画等を確認していることを記したもの) *化学・バイオ系3専攻(応用化学専攻, 化学工学専攻, バイオ工学専攻)を志願する者は, 工学研究科化学・バイオ系事務室 (che-kyom@grp.tohoku.ac.jp)に確認書の作成について別途問合せ てください。
日 本 語 能 力 証 明 書	機械系4専攻(機械機能創成専攻, ファインメカニクス専攻, ロボティクス専攻, 航空宇宙工学専攻)の志願者は, 日本語教員・指導 (予定)教員等が作成したもの(様式随意)を提出してください。

5 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、筆答試験、小論文、面接試問及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和3年8月24日（火）から8月26日（木）までの間に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科（詳細については、各専攻から本人あてに通知します。）

6 合 格 者 発 表

令和3年9月1日（水）17時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト
(<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>) に発表する予定です。

なお、入学志願者に対しては、選考結果通知を郵送で発送します。電話による問い合わせには回答できませんのでご了承ください。

7 入学手続等

(1) 入学手続は、令和3年9月14日(火)に実施の予定です。詳細については、令和3年9月上旬に合格通知書を送付する際にお知らせします。

(2) 入学時の必要経費

① 入 学 料 282,000円(予定額)

② 授業料後期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

注1 上記の納付額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

注2 入学料及び授業料の納付に関しては、令和3年9月上旬に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。また、免除、徴収猶予等の手続きに関しては、東北大学のウェブサイト(<https://www.tohoku.ac.jp/>)にアクセスし、「東北大学で学びたい方へ」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

8 長期履修学生制度の適用

本研究科では、特別の事情〔注1〕によって、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する〔注2〕ことを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

長期履修学生制度の適用を希望する者は、合格後の入学手続時に所定の願い出を行う必要があります。なお、適用は入学時からとし、在学途中からの長期履修学生への変更はできません。

〔注1〕 該当者：① 企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者

② 出産・育児、介護等を行う必要がある者

③ その他、本研究科が適当と認める者（経済的な理由を除く。）

※ 原則として社会人特別選抜合格者に限りますが、その他の選抜を志願する者で、この制度の適用を希望する場合は工学部・工学研究科教務課大学院教務係に事前にご照会ください。

〔注2〕 在学年限は4年を超えることはできませんが、許可された在学年限の短縮を願い出ることはできます。

なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意しません。

9 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学、授業料免除及び健康管理等）及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。
- (3) 入学後、教務関係の業務については、本学より業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たっては、その必要性に応じて「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき、個人情報の全部又は一部を受託業者に提供します。

10 注 意 事 項

- (1) 「受験案内（各専攻の専門分野等を掲載）」は、東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>）に掲載していますので、出願の際には必ず確認してください。
- (2) **願書郵送の場合は、出願用封筒を用い必ず速達書留で郵送してください。**
願書受理の通知は出しませんが、受理確認を希望する者は、あて名記載の郵便はがきを同封してください。
- (3) 出願書類及び検定料は返付しません。
- (4) 受験票が試験日10日前になっても到着しない場合は、志望した系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。
- (5) 募集事務に関することは、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。
- (6) 郵便で出願書類を請求する場合は、住所、氏名、郵便番号、必要な募集要項の種類（選抜区分）を明記し、郵便切手250円分を貼った返信用封筒（角形2号、約34cm×約24cm）を同封してください。
- (7) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

＊相談の期限：原則として令和3年5月31日（月）まで

＊申出書に記載する内容

- ① 志願者の氏名・住所・電話番号
- ② 出身大学等

- ③ 受験上配慮を希望する事項
 - ④ 修学上配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）
- (8) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入に際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和3年5月

東北大学大学院工学研究科

(工学部・工学研究科教務課大学院教務係)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

電話 (022) 795-5820

e-mail : eng-in@grp.tohoku.ac.jp

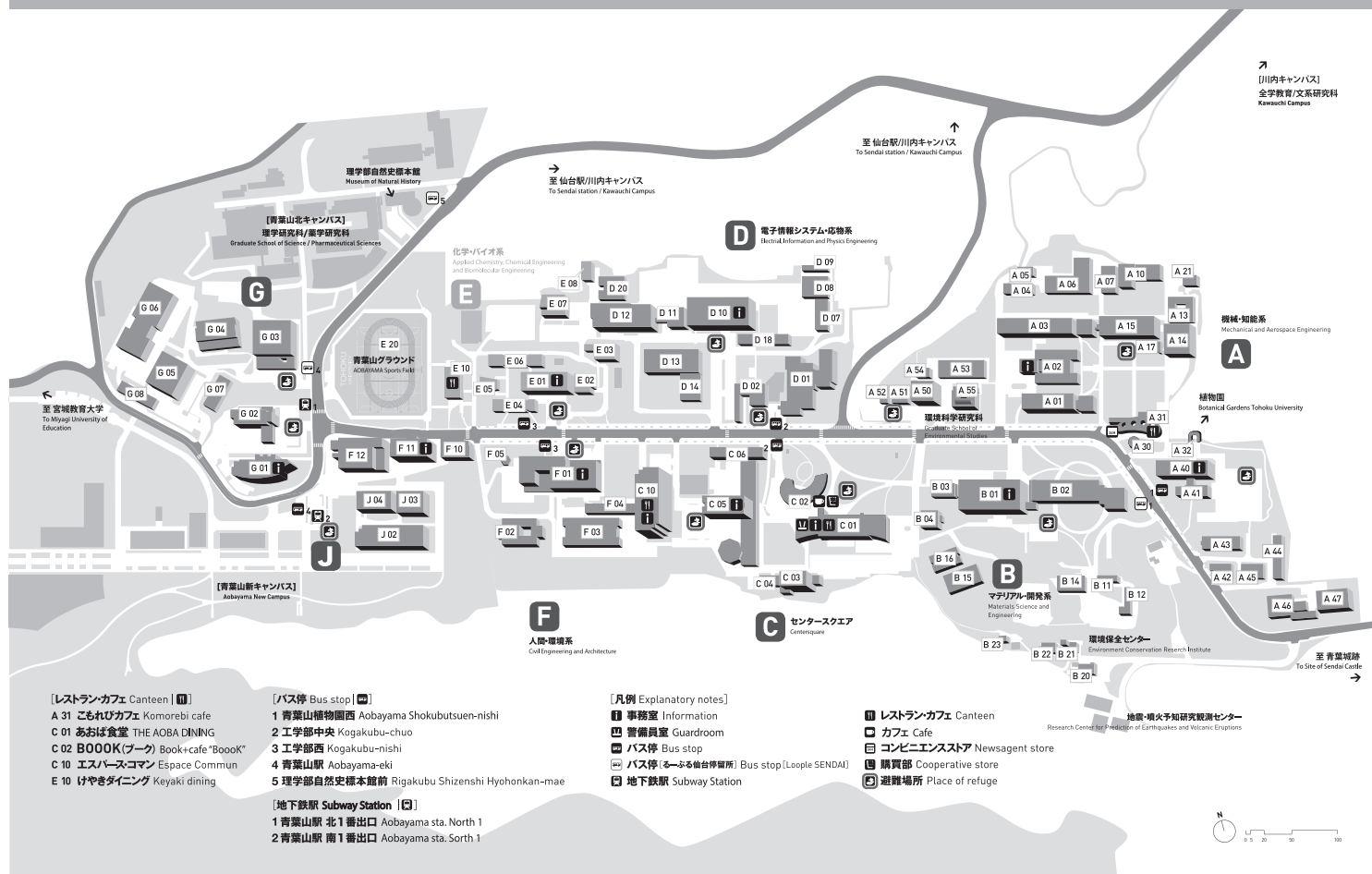
別表 (前期2年の課程：令和3年10月：9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜，早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜)

専 攻	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
機 械 工 学 専 攻 航 空 宇 宙 工 学 専 攻 機 能 創 成 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Editionのスコアも認める。英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。	スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き，願書受付期間内に，スコアシートの原本を提出できない場合は，出願を受理しない。(ただし，願書受付期間後に提出できる回の TOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合を除く。その場合でも，指定期日までに提出されなかった場合には，「不合格」とする。)
	数 学 A (必 答)	8月24日(火) 9時30分～10時30分 (集合時間 8時50分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験および面接を免除することがある。 (2) 筆答試験の成績によっては，面接を実施しないことがある。
	数 学 B (必 答)	8月24日(火) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	(3) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/
	専 門 科 目 (選 択)	8月24日(火) 15時45分～16時45分	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学 以上の5科目から2科目を選択	(4) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (5) 9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜で募集する研究室は以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/ (ここに示された研究室以外には研究室配属しないので注意すること。)
	面 接	8月26日(木) 13時30分～ (集合時間 13時00分)		(6) 8月25日(水)は予備日とするので空けておくこと 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
量 子 エ ネ ル ギ ー 工 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。	いずれのスコアシートも提出できない受験希望者については，募集要項で求めるスコアシートの提出がない場合でも，今回に限り出願を受理する。その場合，大学入学以降の英語の学力を示す資料(英検，TOEFL ITP®，TOEFL iBT® Special Home Edition Test等)を可能な限り添付するものとし，いずれもない場合は大学の成績証明書を添付し，出願すること(本学工学部在籍者は大学の成績証明書は提出不要である)。
	数 学 A (必 答)	8月24日(火) 10時00分～11時00分 (集合時間 9時30分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験を免除することがある。
	数 学 B (必 答)	8月24日(火) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	(2) 専門科目として化学を希望する受験者は本専攻のホームページ http://www.qse.tohoku.ac.jp/admission/admission_graduate.html を確認の上，出願前に量子エネルギー工学専攻長室(TEL 022-795-7901)に連絡すること。出願前の連絡がない場合，化学を選択できないので留意すること。
	専 門 科 目 (選 択)	8月24日(火) 15時45分～16時45分	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学，材料物性学，電磁気学，量子力学，化学(化学I，化学II) ・以上から2科目を選択すること。 但し，化学(化学IおよびII)については選択に制約があるので備考欄に従うこと。	(3) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/
	面 接	8月26日(木) 13時30分～ (集合時間 13時00分)	入学者としての適性	(4) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため，実施方法に変更がある場合には後日通知する。 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030

専 攻	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
電 通 電 気 エ 信 ネ ル 子 ギ 工 ー 工 シ 学 ス 学 テ シ ム ス 専 専 攻 攻 攻 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	(1) 成績証明書の内容によっては、筆答試験及び面接試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ (3) 電卓及び計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。
	基 礎 科 目	8月24日(火) 9時30分～11時30分 (集合時間 9:00)	電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2 物理基礎、数学基礎の6題から2題選択。	
	専 門 科 目	8月25日(水) 9時30分～11時30分 (集合時間 9:00)	電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、 計算機2、物理専門の6題から2題選択。	
	面 接	8月25日(水) 又は8月26日(木) (専攻より指示する)	出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文 (作成中含む)、及び入学後の研究希望について10分程度で発表。資料を3部持参のこと。	専攻照会先: 電子情報システム・応物系事務室 教務担当(TEL 022-795-7186)
応 用 物 理 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	特別な事情がある場合は、下記照会先に相談のこと。
	基 礎 科 目	8月24日(火) 9時30分～11時45分	力学、電磁気学、量子力学の3問。	過去の入試問題は次のホームページに掲載している一般選抜のものを参照のこと。 http://www.apph.tohoku.ac.jp/
	専 門 科 目	8月24日(火) 13時00分～14時30分	統計力学、物性物理の2問。	電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。
	面 接	8月25日(水) 13時00分～		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先: 電子情報システム・応物系事務室 教務担当(TEL 022-795-7186)
応 化 バ 用 学 イ 化 工 オ 学 工 学 専 専 攻 攻 攻 攻	英 語	8月24日(火) 10時00分～ 11時20分	TOEFL ITP®Test (Level 1) を実施する。ただし、Listening Comprehension は評価の対象としない。	(1) HBの鉛筆またはシャープペンシルを必ず持参すること。 (2) 成績証明書の内容によっては、筆答試験及び面接試験を免除することがある。
	基 礎 科 目	8月24日(火) 本学化学・バイオ工学科卒業(見込)の者: 13時30分～16時30分 他系、他学部、他大学の者: 14時15分～16時30分	無機・物理化学(化学結合論、平衡と速度)、有機化学(構造、物性、反応)、生物化学(構造、機能、代謝)、化学工学(量論、移動現象論)ただし、 本学化学・バイオ工学科卒業(見込)の者:上記の4題必答。 他系、他学部、他大学の者:上記の4題の中から3題選択。	(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する。 (4) 防疫上の理由により、試験日程を変更する場合がある。 (TOEFL ITP®Test に代わり、筆答試験を実施する場合もある)
	専 門 科 目	8月25日(水) 9時00分～12時00分	①無機・物理化学(結合・構造論、反応論、物性論)3題 ②有機化学(物理有機化学、有機合成化学、高分子化学)3題 ③生物化学(生体機能化学、応用生物化学、生体情報化学、生物物理化学)4題 ④化学工学(反応工学、機械的単位操作(レオロジーも含む)、分離工学、プロセスシステム(制御も含む))4題 以上の4分野14題の中から4題選択。ただし、2分野以上から選択のこと。	専攻照会先: 化学・バイオ系事務室教務担当 TEL 022-795-7205 専攻ホームページ: http://www.che.tohoku.ac.jp/index-j.html
	面 接	8月25日(水) (実施時間は専攻より指示する)		

専 攻	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
金 知 材 属 能 料 フ デ シ ロ バ ス ン イ テ ス テ ム ア 材 工 学 学 学 専 専 専 攻 攻 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストスコアシートの原本を出願時に提出すること。	対象となるTOEFL・TOEICの種類等詳細については、以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html
	数 学	8月24日(火) 13時00分～14時00分	微分・積分、常微分方程式 線形代数(ベクトル・行列・行列式)、 ベクトル解析、複素関数論、 フーリエ級数・フーリエ変換、ラプラス変換 など	(1) 成績証明書の内容によって、 筆答試験を免除することがある。 (2) 電卓の持込みを認めない。 (3) 日程等については個別に連絡する。
	専 門 科 目	8月25日(水) 9時00分～11時40分	物 理：質点・剛体の力学、電磁気学、 振動・波動など 化 学：原子・分子の構造、化学結合、 化学反応、化学熱力学、 有機化学基礎など 材 料 化 学：材料物理化学、材料電気化学、 移動現象論、金属精錬・精製学、 応用材料化学、材料プロセス工学 など 材料物性学：結晶回折学、固体物性学、 材料強度学、材料組織学、 電子材料、磁性・誘電材料、 材料設計など 材料加工学：材料力学、連続体力学、材料試験、 鋳造・粉体・塑性加工、 溶接・接合、材料評価学、 加工解析学など 以上5科目10題中から任意に4題を選択	* 詳細については専攻に問い 合わせるか、あるいは以下の ホームページで確認するこ と。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html * 新型コロナウイルス感染拡大 防止のため対面での試験が実施 できない場合の試験方法につい ては別途受験者に通知する。 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室 教務担当 (TEL) 022-795-7373
	面 接	8月26日(木) 9時00分～12時00分		

専 攻	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
土 木 工 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	(1) 電卓・辞書および計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 成績証明書の内容によっては、専門科目を免除することがある。 (3) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のホームページを参照すること。 http://www.civil.tohoku.ac.jp/admission.html (4) 本学土木系とは社会基盤デザインコース、水環境デザインコース、都市システム計画コースを指す。 (5) 面接の日時・場所、試験時の注意事項等は専攻から通知する。 (6) 詳細は専攻に照会すること。 (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合はオンラインで実施する。詳細な試験方法については、試験実施前にオンライン接続確認を行うので、その際に連絡する。 専攻照会先 人間・環境系事務室教務担当 TEL 022-795-7489
	小 論 文	8月24日(火) 9時30分～11時00分	土木工学関連のテーマ	
	専門科目	8月24日(火) 本学土木系出身者以外 14時30分～16時30分 本学土木系出身者 13時00分～16時30分	本学土木系出身者以外 以下の8科目17問より4問を選択。 本学土木系出身者 以下の8科目17問より7問を選択。 1.数学(微分積分, 線形代数, 確率統計) 3問 2.弾性体と構造の力学 2問 3.地盤とコンクリート 2問 4.水理学 2問 5.水質と環境 2問 6.生物と生態 2問 7.交通 2問 8.計画数理 2問	
	面 接	本学土木系出身者以外 8月24日(火) 本学土木系出身者 8月25日(水)		
都 市 ・ 建 築 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	(1) 志願講座毎に専門科目が異なるので注意すること。 (2) 電卓、辞書の使用は認めない。 (3) 共通科目の出題内容及び専門科目の過去の入試問題は、本専攻のホームページを参照のこと。 http://www.archi.tohoku.ac.jp (4) 出願手続き前に、あらかじめ志望する分野の受入れ予定教員に相談すること。 (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については、別途受験者に通知する。 専攻照会先 人間・環境系事務室教務担当 TEL 022-795-7489
	共通科目	8月24日(火) 10時30分～12時00分	都市・建築デザイン, 都市・建築計画, 建築環境, 建築構造の各分野について、それぞれの基礎的知識を問う問題	
	専門科目	8月24日(火) 13時30分～16時30分	都市・建築デザイン学講座 都市・建築計画学講座 サステナブル空間構成学講座 建築構造工学講座	
			設計製図 建築計画, 都市計画, 建築史に関する問題を各1～3問程度出題 建築環境・設備工学, 建築材料学, 建築構造学に関する問題を各1～3問程度出題 建築構造力学, 鉄骨造, RC造, 振動論, 建築防災工学に関する問題を各1～3問程度出題	
技 術 社 会 シ ス テ ム 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	(1) 成績証明書の内容によって、筆答試験の一部を免除することがある。 (2) 口頭試問の日時・場所は、専攻より別途通知する。 専攻照会先： 事務室 TEL 022-795-3863 専攻ホームページ： http://www.most.tohoku.ac.jp
	小 論 文		一般常識および本専攻がカバーする専門分野とそれに関する社会問題を題材とした小論文によって、本専攻での修学にふさわしい論理的思考力、表現力、基礎学力を有しているかを評価する。出願者に別途、選択式のテーマを事前に送付するので、指定の期日までに提出すること。	
	口頭試問	8月24日(火) ～ 8月26日(木) (専攻より指示する)	小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。また、基礎学力、および入学後の研究分野の適正についても評価する。口頭試問の時間は1人あたり30分程度である。	



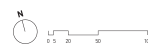
【レストラン・カフェ Canteen】
A 31 こもればカフェ Komorebi cafe
C 01 おおは食堂 THE AOBIA DINING
C 02 BOOOK(ブーク) Book+cafe "Boook"
C 10 エスペースコマン Espace Commun
E 10 けやきダイニング Keyaki dining

【バス停 Bus stop】
1 青葉山植物園 Aobayama Shokubutsuen-nishi
2 工学部中央 Kogakubu-chuo
3 工学部西 Kogakubu-nishi
4 青葉山駅 Aobayama-eki
5 理学部自然史標本館前 Rigakubu Shizenshi Hyohonkan-mae

【地下鉄駅 Subway Station】
1 青葉山駅 北1番出口 Aobayama sta. North 1
2 青葉山駅 南1番出口 Aobayama sta. South 1

【凡例 Explanatory notes】
① 事務室 Information
② 警備員室 Guardroom
③ バス停 Bus stop
④ バス停「もーふる」仙台駅前所 Bus stop「Loopie SENDAI」
⑤ 地下鉄駅 Subway Station

⑥ レストラン・カフェ Canteen
⑦ カフェ Cafe
⑧ コンビニエンスストア Newsagent store
⑨ 購買部 Cooperative store
⑩ 避難場所 Place of refuge



A 機械・知能系 Mechanical and Aerospace Engineering

- A 01 機械系1号館 [M1] ②
- Mechanical Eng. Research Building 1
- A 03 機械系2号館 [M2] ②
- Mechanical Eng. Research Building 2
- A 02 機械系講義棟 ②
- Mechanical Eng. Lecture Room Building
- A 05 機械系実験棟 [M-I]
- Mechanical Eng. Research Laboratory I
- A 04 機械系実験棟 [M-J]
- Mechanical Eng. Research Laboratory J
- A 06 機械系実験棟
- Mechanical Eng. Laboratory Building
- A 07 機械・知能系教育実験棟・高機能試作センター
- Mechanical and Aerospace Eng. Laboratory for Students & Nano-Precision Machining Shop
- A 15 機械・知能系共同棟 ②
- Mechanical and Aerospace Eng. Research Building
- A 10 機械系環境材料強度研究棟
- Mechanical Eng. Environmental Strength Research Laboratory
- A 14 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター
- Micro Nano-Machining Research and Education Center Micromachining Facility
- A 17 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター
- Micro Nano-Machining Research and Education Center Nanomachining Facility

- A 40 量子エネルギー工学専攻本館 Quantum Science and Energy Eng. Research Building ②
- A 41 量子エネルギー工学専攻講義棟 Quantum Science and Energy Eng. Lecture Room Building
- A 42 放射能災害再生工学研究センター研究棟
- Center for Remediation Eng. Research of Nuclear Disasters Research Building
- A 43 放射能同位元素実験室 Quantum Science and Energy Eng. Radioisotope Laboratory
- A 44 先進核融合炉工学総合実験棟 Integrated Laboratory for Advanced Fusion Reactor Eng.
- A 45 放射能災害再生工学研究センター実験棟
- Center for Remediation Eng. Research of Nuclear Disasters Laboratory Building
- A 46 高速中性子実験室 Fast Neutron Laboratory
- A 47 超界面薄膜実験室 Subcellular Assembly ②

- A 13 ナノ工学研究棟
- Nano-Biomedical Eng. Research Building
- A 21 ナノ工学実験棟
- Nano-Biomedical Eng. Research Laboratory
- 環境科学研究科 Graduate School of Environmental Studies
- A 50 環境科学研究科研究棟 ②
- Graduate School of Environmental Studies Research Building
- A 51 環境科学研究科講義棟
- Graduate School of Environmental Studies Lecture Room Building
- A 52 環境科学研究科地盤環境強度特別実験室
- Graduate School of Environmental Studies Geotechnical Research Laboratory
- A 53 環境科学研究科実験棟
- Graduate School of Environmental Studies Research Laboratory
- A 54 環境科学研究科研究棟アネックス
- Graduate School of Environmental Studies Research Building Annex
- A 55 エコラボ EcoLab

- A 30 自動車の過去・未来館
- Automobile Museum
- A 31 デイリーヤマザキ・こもればカフェ [C] ②
- Daily Yamazaki Komorebi Cafe
- A 32 東北大学植物園 青葉山植物園ゲート
- Botanical Gardens Tohoku Univ. Aobayama Gate

B マテリアル・開発系 Materials Science and Engineering

- B 01 マテリアル・開発系教育研究棟 Materials Science and Eng. Education and Research Building ②
- B 02 マテリアル・開発系材料実験棟 Materials Science and Eng. The Materials Experiments Building ②
- B 03 マテリアル・開発系大講義棟 Materials Science and Eng. Lecture Hall
- B 04 マテリアル・開発系共同研究棟 Materials Collaborative Research Building
- B 11 革新材料研究棟 Materials Evolution Research Building
- B 12 マテリアル・開発系実験・研究棟 Materials Science and Eng. Research and Machining Building
- B 14 教育研究基盤支援棟17 [M5] Education and Research Base Support Building 17 [M5]
- B 15 教育研究基盤支援棟14 [M2] Education and Research Base Support Building 14 [M2]
- B 16 教育研究基盤支援棟13 [M1] Education and Research Base Support Building 13 [M1]

- 環境保全センター Environmental Conservation Research Institute
- B 20 環境保全センター実験施設環境棟 Environmental Conservation Research Institute
- B 21 環境保全センター実験研究棟 Environmental Conservation Center Experimental Research Building ②
- B 22 環境保全センター分析棟 Environmental Conservation Center Analysis Laboratory
- B 23 環境保全センター教員棟 Environmental Conservation Center Office

C センタースクエア Centresquare

- C 01 センタースクエア中央棟 (Centresquare CENTER HALL) ② ② ②
- おおは食堂 AOBIA DINING ②
- C 02 Book+cafe BOOOK Book+cafe BOOOK [C] ②
- C 03 青葉記念会館 Aoba Memorial Hall ②
- C 04 青葉山会館 Aobayama Hall
- C 05 工学部管理棟 工学研究科 / サイエンスキャンパスホール ② ②
- School of Engineering Administration Office
- C 06 ハッチェリースクエア Hatchery Square
- C 10 工学研究科総合支援棟 技術社会システム専攻 ② Engineering Laboratory Complex Building ② ② ②

D 電子情報システム・応物系 Electrical, Information and Physics Engineering

- D 01 附属図書館工学分館 Innovation Library ②
- D 02 創造工学センター Innovation Plaza
- 電子情報システム・応物系 Electrical, Information and Physics Engineering
- D 07 教育研究基盤支援棟10 [E5] Education and Research Base Support Building 10 [E5]
- D 08 教育研究基盤支援棟11 [E6] Education and Research Base Support Building 11 [E6]
- D 09 教育研究基盤支援棟12 [E7] Education and Research Base Support Building 12 [E7]
- D 10 電子情報システム・応物系1号館 EPE Building 1 ② ②
- D 11 電子情報システム・応物系1号館別館 EPE Building 1 Annex
- D 12 電子情報システム・応物系2号館 EPE Building 2 ②
- D 13 電子情報システム・応物系教育研究実験棟 EPE Education and Research Building ②
- D 14 電子情報システム・応物系復興記念教育研究未来館 EPE Future Hall
- D 18 電子情報システム・応物系南講義棟 EPE Lecture Room Building
- D 20 教育研究基盤支援棟7 [E2] Education and Research Base Support Building 7 [E2]

E 化学・バイオ系 Applied Chemistry, Chemical Engineering and Biomolecular Engineering

- E 01 化学・バイオ系研究棟本館 ② ②
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Main Research Building
- E 02 化学・バイオ系研究棟分館
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Research Building Annex
- E 03 化学・バイオ系第二研究棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Research Building 2
- E 04 化学・バイオ系講義棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Lecture Room Building
- E 05 化学・バイオ系大講義棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Lecture Hall
- E 06 化学・バイオ系実験棟
- Applied Chemistry, Chemical Eng. and Biomolecular Eng. Laboratories for Students
- E 08 超臨界流体工学研究棟 Supercritical Fluid Research Laboratory

- E 07 工学研究科総合実験棟
- Complex Building of Engineering Experimental Research Laboratories
- E 10 けやきダイニング KEYAKI DINING ② ②

- E 20 青葉山グラウンド AOBAYAMA Sports Field ②

F 人間・環境系 Civil Engineering and Architecture

- F 01 人間・環境系教育研究棟 ② ②
- Civil Eng. and Architecture Education and Research Building
- F 02 建築実験棟 Laboratory Building of Architecture and Building Science
- F 03 社会環境工学実験棟 Laboratory Building of Civil and Environmental Eng.
- F 04 教育研究基盤支援棟19 [A1] Education and Research Base Support Building 19 [A1]
- F 05 建築CLTモデル実証棟 CLT Demonstration Building

- F 10 東北大学連携ビジネスインキュベーターT-Biz
- T-Biz Business Incubator collaborated with Tohoku University
- F 11 未来科学技術共同研究センター本館 ② ②
- NiChE New Industry Creation Hatchery Center
- F 12 未来情報産業研究棟 Fluctuation Free Facility for New Information Industry ②

G 情報科学研究科教育研究棟 Graduate School of Information Science Education and Research Building

- G 02 電子情報システム・応物系3号館 EPE Building 3 ②
- G 03 青葉山体育館 Aobayama Gymnasium ②
- G 04 建築実験所 Laboratory of Architecture and Building Science ②
- G 05 サイバーサイエンスセンター CyberScience Center ②
- G 06 学際科学フロンティア研究所 ②
- Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences
- G 07 教育研究基盤支援棟6 [E1] Education and Research Base Support Building 6 [E1]
- G 08 サイバーサイエンスセンター2号館 CyberScience Center 2

- J 02 レアメタル総合棟 Laboratory for Rare Metal Research ②
- J 03 レジリエント社会構築イノベーションセンター
- Innovation Center for Creation of a Resilient Society
- J 04 未来産業技術共同研究棟 NiChE New Industry Creation Hatchery Center Annex

所在地 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04
アクセス 仙台市地下鉄東西線：仙台駅から八木山動物公園行きに乗り、青葉山駅で下車（所要時間約9分、運賃250円）
北1番出口又は南1番出口から徒歩約10分～15分
タクシー：仙台駅西口から乗車。運賃は1,800円

【凡例 Explanatory notes】

- ① 事務室 Information
- ② 警備員室 Guardroom
- ③ レストラン・カフェ Canteen
- ④ カフェ Cafe
- ⑤ コンビニエンスストア Newsagent store
- ⑥ 購買部 Cooperative store
- ⑦ 自動体外式除動器AED